

神奈川ネットワーク運動・座間市民ネット Kanagawa

まちづくりレポート No.99

〒252-0028 座間市入谷東3-30-26 澤善ビル2F
 TEL/FAX : 046-252-4464 Email : zamashiminnet@ybb.ne.jp
 2021年1月発行・編集 座間市民ネット 野原美幸



市議 長瀬 みさ
 民生教育常任委員会



生活困窮者の自立支援 ～コロナ禍の今、誰ひとり取り残さない社会へ～

12月議会 一般質問

今、私たちの社会は、学校に通い、卒業、就職し、結婚して家族をもつという人生の描き方が当たり前ではない時代になりました。失業や病気で働けなくなったり、不登校や引きこもり、8050問題など、それぞれが抱える課題も多様化、複雑化しています。

「断らない支援」

2015年4月に施行された生活困窮者自立支援法により、生活保護を受ける手前にいる「生活困窮者」を支援するための制度がとられ、座間市では先駆的に事業が行われてきました。2015年から市役所に自立相談事業の窓口を設置し、生活保護家庭の子ども支援のための、子ども健全育成支援員の派遣に取り組まれました。以降、家計相談支援事業、就労支援準備事業、子どもの学習支援事業、居住支援推進事業を順次開始し、年々支援体制を拡充しています。

就労準備支援の成果と課題

「就労準備支援」は、引きこもりなどで就労経験・社会経験が少ない人が就労に向けた準備をする事業で、座間市では相武台前駅近くの「はたらつく・ざま」で行われています。利用者は数カ月間にわたる講座を通して社会的マナーやルールを学んだり、お金の管理や洗濯、掃除、調理などの体験をしたりと、自立するために必要な力をつけていきます。座間市の場合には主に30代、40代のいわゆる稼働年齢世代の、長い間引きこもっていた人や生活保護を受けていた人なども利用しており、はたらつく・ざまの講座終了後には、地域の事業所の協力のもとでその方に合った就労につながっています。



長瀬みさ 初めての議会

就労につながらなかった人にとっても、次のきっかけを見つけるには地域と関わり続けることが大切です。就労した人もプログラムの一環でフオロー（定着支援）を受けることができりますが、実際には1年間のプログラム終了後にもフオローされている人が多い現状です。就労につながった人も、長期フオローを受けることができ居場所が必要と考える、12月の一般質問で聞きました。

市としてもその課題を捉えており、居場所の必要性を感じていると答弁がありました。早期の居場所設置を働きかけていきます。

ワークショップ

～国籍や民族を越えて、みんなが生きやすい地域づくり～

日時●2021年3月7日(日) 午後2時30分～午後4時

場所●サニープレイス座間 会議室

参加●要申込み

(お名前と連絡先を記載の上、座間市民ネット事務所のメール・

TEL・FAXのいずれかでお申込みください)

締切3/5

mail●zamashiminnet@ybb.ne.jp

Tel・Fax●046-252-4464

講師

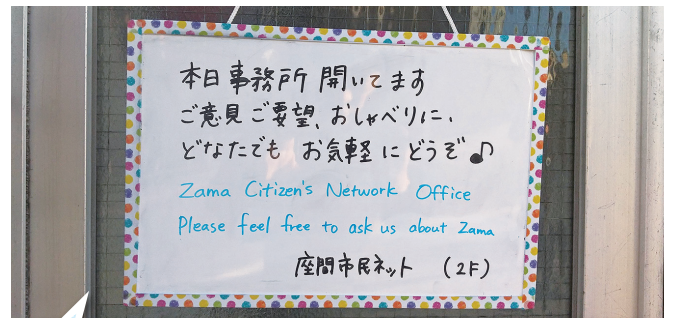
出口雅子さん(ピナット～外国人支援ともだちネット)

プロフィール

1992年、ピナット立ち上げに参加。現在、コーディネーターとして活動中。また、ボランティアとして、赤ちゃんのいる外国人ママの居場所づくりと寄り添い同行支援を主に担当。

私たちができること、一緒に考えてみませんか？

ご近所に住む外国人親子、気になりながらもどうかかわって良いかわからない？！



ぜひ皆さまの声を座間市民ネット事務所にお寄せください！
 玄関前のプレート「事務所開いています」が目印です

おしゃべりサロン(議会報告会)

2/10 水 座間市民ネット事務所 10～11時半

2/13 土 ハーモニーホール座間 大会議室 10～11時半

2/14 日 座間市公民館 10～11時半

お気軽に直接会場にお出かけください
 連絡先 090-1474-0711 (長瀬)

プラスチック削減のためのレジ袋有料化開始 缶・ビン・ペットボトルの収集はコンテナで！



レジ袋有料化

プラスチックは、焼却によるCO2増加、石油由来の化石資源の枯渇を生じ、近年はプラスチックごみによる海洋汚染が深刻になっています。この状況のなか、世界では、脱プラスチックの方向でプラスチックへの規制が進んでいます。日本は、一人当たりのプラスチックが世界で米国に次いで2位でありながら、ようやく昨年の5月に、具体的目標数値が明記された「プラスチック資源循環戦略」が策定されました。この戦略におい

て、2030年までにワンウェイプラの25%排出抑制が方針化され、今年7月のレジ袋有料化が実施されています。

購入ビニール袋で資源ごみ出し

座間市では、缶・ビン・ペットボトルを透明・半透明のビニール袋に入れて出すルールになっています。資源物の分別回収開始からずっと変わっていません。これまでも、入れる袋にレジ袋を活用していた方が多かったようですが、有

他市での取り組み

座間市民ネットでは、入れたビニール袋が可燃ごみになることや異物混入を防ぐことができないことから、これまでも、缶・ビン・ペットボトルの資源物回収を、ビニール袋に入らずにコンテナに入

れて回収するやり方を提案してきました。しかし、市は道路が狭いからと、具体的に検討することはありませんでした。他市においては、大和市、綾瀬市、藤沢市（バケツ）、平塚市、茅ヶ崎市、南足柄市、町田市等がコンテナ回収を実施、缶・ビンの2種では秦野市、鎌倉市、ビンのみ3つの色別のコンテナ回収を伊勢原市が実施しています。また、コンテナ出しを行うことで、リターナブル瓶の回収も行いやすくなります。

アンケートにご協力を

座間市でも、このレジ袋有料化を契機にプラスチック削減のため、またリユースシステム推進のため、缶・ビン・ペットボトルのコンテナ回収に変えていくことが必要と考えます。現在市民アンケートを実施しています。ぜひ声をお寄せください。

資源ごみ（缶・ビン・ペットボトル）



座間市民ネットでは以下のアンケートを実施し、市への提案づくりに活かしたいと考えます。ぜひご協力ください。

回答方法 ウェブ回答（下記QRコード）、郵送、FAX、メール、事務所ポストへ投函など

- お住まい ①座間市内 ②座間市外
- 小売店での買い物の際、購入品をどのように持ち帰りますか？
①マイバックや自己所有のバックに入れる
②たまたまレジ袋を購入する
③いつもレジ袋を購入する
④その他（ ）
- 資源ごみ（缶、ビン、ペットボトル）を集積所に出す際、座間市では透明・半透明のポリ袋に入れて出す、としています。どのような袋に入れてありますか？
①購入したビニール袋
②レジ袋
③その他（ ）
- 大和市、綾瀬市、平塚市、町田市等では、資源ごみを集積所に設置のコンテナに入れる方法で収集しています。レジ袋等は不要です。座間市においてもできる場所からコンテナ出しの方法を行っていくことが、プラスチックの発生抑制のため、また異物混入防止等のためにも有効と考えますが、いかがですか？
①良い ②難しい ③その他（ ）
- ご意見等ありましたらお書きください。



▶平塚市のごみ集積場の様子



みさレポート 「外国籍市民の生活応援」



日本語での会話や読み書きが難しい外国籍市民にとって、生活する上で言葉の壁は大きなものです。私自身、外国籍の方から「市役所・学校から手紙が届いたが、内容がわからない」「大事な書類を提出しなければいけないのに、書けない。」などと聞かれ、何度か市に問い合わせたことがあります。

また、台風やコロナ禍などの非常時や災害時には地元の情報が知りたいものですが、地域密着の情報にはテレビやインターネットではなかなかわかりません。スマートフォンでの翻訳機能では理解できないことも多く、機械に頼るのは限界があると言わざるをえません。

日本に住む外国籍住民は、今年10月の政府発表の統計で約288万人となっており、座間市にも現在3257人の外国籍市民が暮らしています。2018年に「出入国管理及び難民認定及び法務省設置法の一部を改正する法律」いわゆる改正入管法が成立し、2019年4月より新しい在留資格「特定技能」が追加されました。これは建設業や飲食業、農業、漁業、介護などに従事する資格です。これにより、今後も外国人が増えていくことが予想されます。制度として外国人労働者を受け入れる以上は、外国籍住民が安心して暮らしていけるよう担保することが必要です。

愛川町や平塚市などでは政府からの交付金で通訳が常駐する総合窓口を設置しています。本市においても外国籍市民が気軽に相談できる窓口の設置を提案していきます。